



北山田小だより



横浜市立北山田小学校
校長 滝川 尚美

「新年あけましておめでとうございます」

～努力が実り、新しい発見がある一年に～

校長 滝川 尚美

2024年、新しい1年が始まりました。その始まりの日にM7.6の大きな規模の地震が起きました。「令和6年能登半島地震」です。津波や火事の発生、倒壊した家屋の様子を伝えるニュースに心が痛みました。被害の全容はまだ明らかでないようですが、甚大な被害であることは伝わってきます。皆様の無事をお祈りいたします。そして、亡くなられた方、被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。地震は私たちにとってもいつ起こるか分からない災害です。学校でも避難訓練を通して発災時に備えておりますが、今一度、命を守る行動について子どもたちと一緒に考えたいと思います。

さて、今年の干支は「甲辰」(きのえたつ)です。調べてみると「甲辰」は、「今まで努力を重ねたことの成果が花開いたり、新しい才能が発見されたりする年」だそうです。今年度の学校生活もあと残り3か月です。目標に向けて努力してきたことが成果に表れたり、自分のよさや得意の発見があったりすることで、新しいステージに自信をもって進めることでしょうか。そんな、「甲辰」のスタートになればと思います。

この冬休みに卒業文集の原稿を読ませてもらいました。小学校生活の中で学んだことや将来の夢が書かれていました。「患者さんを安心させられる看護師さんになりたい」「技術が高く、みんなに幸せや笑顔をあげられるようなパティンエになりたい」など、なりたい職業があり、それらの仕事を通して実現したいことが表現されていて素晴らしいです。周りの人を安心させたり、幸せにしたりする6年生の未来の姿が目に見え、嬉しく感じました。

また、「ある一面で人を決めつけず一人一人をしっかりとみて、相手の本来の姿やよさに気付ける人になりたい」や「相手を応援する気持ちや『すごい』と思う気持ちを拍手などで伝え、周りの人をハッピーにしたい」と書いた人もいました。自分の価値観や信念を見つめ、何を大切に、どんな人間関係を築きたいのかを考え表現している文章にも感心させられました。そんな一人一人の思いの根っこには自分のよさや大切にしたいことの発見があり、将来に向けて努力しようという決意がありました。振り返ってみると、今年度の「全校遠足」や「運動会」「全校オリエンテーリング」の行事の中で、下級生を思い学校をハッピーにしようとする姿や取り組む6年生の姿をたくさん目にしました。自分のできることに進んで取り組みやり遂げる姿。課題の達成に向けて友達と協力する姿。いつでも、よく話し合い、互いの考えの違いを受け入れながらより良い答えを探していました。新しい時代を生きるための大切な力を身に付けていたように思います。

さあ、これから3ヶ月、よりよいゴールを迎えるために、学校としてまだまだ、やらなくてはならないこと、できることはたくさんあります。子どもたちにとって、北山田小学校が居心地よく、楽しく豊かな学びの場であるように力を尽くしたいと思います。

最後になりましたが、昨年末には学校評価アンケートへのご回答をありがとうございました。皆様からいただきました貴重なご意見をもとに、今年度の学校運営について振り返り、次年度へ生かしてまいります。結果と今後の取り組みにつきましては、後日、学校説明会を通してお知らせいたします。今年も「笑顔いっぱい みんなかがやく 北山田の子」を目指して参ります。これからもご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

ふれあいの会後援 6年生特別授業「希少・難治性疾患について知る」(12月12日実施)

毎年、ふれあいの会にご協力いただき、6年生に特別授業を実施しています。それぞれの分野の第一線で活躍されている方から直接お話を伺うことは子どもたちにとって良い学びの機会となっています。今年度は希少・難治性疾患の専門家と患者さんをつなげる役割を担う、『NPO法人Asrid』理事長 西村由希子様とご自身が希少疾患の患者さんであるという方お二人の、大変貴重なお話を聞かせていただきました。身の回りには様々な背景をもった人がいることやだれにとっても過ごしやすい社会の実現について考えることができました。